

【ご報告と私の思い】

新しい伊達博物館を天赦公園内に建て替えることについて、「説明が充分でない。理解できる内容ではない」として、建て替えの現計画について、市民の賛否を問うて欲しいと3,161人(有効投票)の方が署名されました。5月の連休を挟んだ3週間¹の間に法定数²のおよそ3倍の署名が集まりました。3,161人の署名の重みをどう捉えるかという課題が市長と議会に突きつけられました。

「重く受け止める」という市長の発言はどう具体化されるのでしょうか。

私達選挙で選ばれる者は、一票一票の積み重ねでこの立場を頂いております。その立場をどう考えるかは、それぞれの議員や首長によって違って良いのですが、1/50以上の市民(選挙人名簿登録者)の署名が集まれば、その請求に基づいて、市長は嫌でも条例制定を議会に提案しなければなりません。(今回の住民投票を求める直接請求がこれにあたります)

市長は提案の際に意見を付けることができ、議案説明に際しては口頭で意見を表明しました。

一方、住民投票を求める請求の代表者は、本会議で意見陳述を行いました。

その陳述を聞いて、「住民投票しなくていいよ」と言える価値観は私には理解できません。

現在の建て替え案に不安や不満を持っている方が、署名されたのだと思います。

将来負担(借金返済や維持費・管理費)が不安な方。

現キリン公園が失われることに不満を持つ方。

伊達博の建て替えが他のことより優先されるべきなのかと不満を持つ方。

物価高騰の今立て替えるべきなのかと疑問に思う方。

現在地で建て替えばよいのにと移転に不満を持つ方。

コンパクトにすれば安く付くのと思う方。等々。

様々に不安を持っている方が居られることが解ったわけです。

また、議会がそれらの市民の意見を代弁できていないと思われ、このままでは現プランのままに建て替えが進んでしまうと思われたわけです。

整備費40億の予定が50億60億に膨らんだ³ときに、プランはどう見直されるのでしょうか。

隈研吾さんの事務所の基本設計が上がれば、敷地がどう使われおおよそどれくらい費用が掛かるか説明出来ます。

しかし、その説明は、6月下旬⁴にしか出来ないというのです。つまり、住民投票をするべきかどうかという判断の基になる

だろうこれらのことが知られないということは、すなわち、いくらかの方が不安に思っている内容が全くの杞憂なのか、逆に不安の中が如く、やはり費用が過大であると評価できるのかわからないままに住民投票の可否を判断することを迫られたということです。

いずれにせよ、「投票を行って市民の意志を問うてみては」と

思う私のような考えを持つ者もいれば、「計画に大きな変化がないのだから、市民の意思を問う必要はない」あるいは、「更なる説明の必要もない」と考える人もいるのが現実でした。

私は、選挙でこの立場を頂いておりますが、4年間の白紙委任を頂いたわけではないと考えています。

「議会の議論が足りていない」「市の説明が足りていない、納得できない」と言うことがあれば、本来⁵の直接民主制(住民投票による)の結果を政策選択の結果としなければならないと思うのです。そう考えずに、説明は十分、議論は十分に議会で行ったから市民の意見を聞く必要はないと一方的な理屈で捉えることは、全くの思い上がりでしかないと思うのです。新型コロナワクチンの開発者の一人カリコー・カタリン博士は、あるテレビ局の

「メッセンジャーRNAワクチンという社会に浸透していない言葉に不安に思ったり、抵抗を感じたりする方が多かった」という記者の指摘に対して、

「科学者の私も報道関係者のあなたもここまで良い仕事できていないということ。私達がしっかりと説明しなかったからだと思う」そう述べられました。

これだけ、世界中で治験が積み重ねられ、手続を経て承認された後に全世界で使われて感染拡大に一定の効果を上げたと評価されるワクチンの開発者でさえ、このように謙虚に受け止めているのです。

新しい伊達博物館は、物価上昇とともに50億・60億と膨れ上がるかもしれないお金を使って建て替えられます。

小さな宇和島市には大きな買い物だと思います。

大きな買い物をするとき、家族で相談しますよね。市民みんなで、相談する機会を持って欲しいという市民の投げかけに対して、0回答では悲しいです。

署名集めに尽力された皆さんに心から敬意を表したいと思いますし、今後とも市政に注目を続けて頂きたいと思えます。もちろん、私達議員も意志決定を自分の知識や経験・価値観のみに基づいて決定するのではなく、市民の声を代弁する意識をより強く持っていたいと思います。

自分が問題と考えていなくても、市民のどなたかに問題であると言われる案件には、積極的に取り組むのが、市民の代弁者たる私達の務めであります。

「議会は、伊達博物館の建て替えの可否ではなく、住民の声を聞く住民投票を行うかどうかについて意思表示すべき」つまり、住民投票を実施すべきと私は思いましたが、残念ながら**住民投票に賛成の議員は11名、反対が13名という結果⁶で、市民の皆さんの意見を問う機会は持てませんでした。**

1 予定されている参議院選挙と同時に住民投票を行うことで費用の削減ができるかと考えて、法定の1か月の署名期間を短縮して署名集めされました

2 条例制定の直接請求に必要な署名は選挙人名簿登録者(有権者)数の50分の1で、3月1日時点で1,243人。

3 6月議会が終わるのを待つようにして報告された概算費用は45億円に膨らみました

4 6月議会閉会後

5 議員による議決に委託する間接民主制は、直接民主制を代替するものと考えています

6 宇和島市議会 2022年6月議会 6/17の条例案採決の結果



【プロフィール】

昭和36年1月生まれ 愛媛県宇和島市出身
愛媛県立宇和島東高等学校卒
岡山大学資源管理学研究室卒(学士)

昭和58年柳加ト吉 営業本部/東京支店
宇和島漬物食品株式会社(現職)

- 1994年 (社)宇和島青年会議所 理事長
- 2000年 (社)日本青年会議所 愛媛ブロック会長
- 2001年 宇和島市補助金等検討委員会 委員長
- 2003年 宇和島市女性問題研究委員会 副委員長
- 2004-5年度 宇和島ロータリークラブ 幹事
- 2013年 宇和島市議会議員
- 2015年 愛媛平成市議の会 事務局長
市議会産業建設委員会 副委員長
愛媛平成市議の会 監事
- 2016年 市議会教育環境委員会 副委員長
- 2017-19年 市議会厚生委員会 委員長
- 2019-21年 市議会副議長
- 2021年 市議会厚生委員会 委員長(現職)
- 現職 宇和島トライアスロン協会 会長
- 現職 愛媛県トライアスロン協会 副会長
- 現職 NPO法人 移植への理解を求める会 理事
- 現職 宇和島法人会 監事
- 現職 宇和島市観光物産協会 理事

【趣味】マラソン・トライアスロン・家事・育児・読書



長谷川淳二氏国政報告会



和霊町町内清掃



伊達博住民投票条例案否決



龍之介ピアノ発表会



3年ぶりの牛鬼まつり大浦牛鬼



鶴島小運動会閉会のあいさつ

あなたも「武田元介ニュースレター 黎明」の読者登録しませんか? ~他人事ではなく自分事~

読者登録していただきますと、「武田元介ニュースレター 黎明」を毎月(年4回の予定)お届けいたします。是非、下記までお申し込みください。

メール m_takeda@motosuke.net
FAX 0895-24-5610

皆さんの声を聞かせてください

メール m_takeda@motosuke.net
FAX 0895-24-5610

皆様で自主開催されるミニ集会や座談会に是非参加させていただけたらと思います。[ママ友が集まる会・ご近所やスポーツ仲間が集まる会]など、どんな会でもかまいません。是非伺わせていただいております。

